

(様式第1号)

(記入例・2年目以降)

令和2年7月10日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

団体名 (特活) いばらき助け合い
所在地 水戸市〇〇町1-2-3
(フリガナ) イバラキ タロウ
代表者氏名 理事長 茨城 太郎 印

代表者名には、役職名も記載
印鑑は法人代表者印(ただし、任意団体は個人の印)

令和2年度茨城県提案型共助社会づくり支援事業助成金交付申請書

下記のとおり令和2年度茨城県提案型共助社会づくり支援事業に係る社会貢献事業への助成金の交付を申請します。

記

事業の名称	高齢者の見守り・生活支援事業(2年目)	
助成事業に要する経費 (総事業費)	1,000 千円	
事業の分野(該当の分野1つに〇をしてください。該当する分野が複数ある場合は、主要な分野1つに〇を付けてください。)		
<input type="radio"/> 見守り, 声掛け	<input type="radio"/> 居場所づくり	<input type="radio"/> 移動困難者の支援
<input type="radio"/> 子育て支援	<input type="radio"/> 貧困対策	<input type="radio"/> 防災対策
その他()		
事業の対象者(該当の対象者全てに〇をしてください。)		
<input type="radio"/> 高齢者	<input type="radio"/> 障害者	<input type="radio"/> 子ども
<input type="radio"/> 子育て中の親	<input type="radio"/> 貧困者	<input type="radio"/> 地域住民全般
その他()		
事業実施区域	<input type="radio"/> 市町村を区域	
	<input type="radio"/> 広域又は全県を区域	
助成事業実施期間	令和元年10月1日～令和2年3月20日 ※申請する年度の事業期間	
助成事業継続予定年数	4年間 ※助成事業終了までの残存年数	
補助金の振込先	<input type="radio"/> 銀行	<input type="radio"/> 支店
	預金種別 普通	口座番号 1 2 3 4 5 6 7 8
	口座名義	トケ化エイカツウホウジンイバラキタスクアイ

事業企画書

事業名	高齢者の見守り・生活支援事業（2年目）	
1 事業目的・概要	<p>高齢者の孤独死の防止や生活に支障のある高齢者の支援することを目的として、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の方を対象として、安否確認やゴミ出し等の簡単な家事の手伝いや、草刈り等の環境保全活動を新規に支援する。</p> <p>目的，対象者，事業内容について，簡潔に記載してください。何が新規事業（または拡充事業）となるのか，既存事業との区別を明確に記載してください。</p>	
2 地域課題・社会的課題	<p>一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加しており，近隣に家族等がない場合が多く，近所の方達だけで継続した支援を行うことは難しい。</p> <p>特に，活動を行う〇〇市〇〇地区では，高齢者世帯の割合が約40%と高く，ゴミ集積所の掃除，近所の草刈り等を自治会で実施することは困難となっているが，これらの支援をしているサービスがない。</p> <p>このため地域住民とボランティアが協力して，高齢者の見守りや生活支援を実施していく体制を整備する必要がある。</p> <p>できるだけ統計調査やアンケート結果などの結果等，根拠となる数値を記載してください。</p>	
3 この事業に対する他の助成の有無（申請中のものを含む。）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<p>有の場合は、助成名称（団体）及び助成額 助成名（団体名）：株式会社*** 助成額：10万円</p> <p>※国又は茨城県の他の制度により事業費補助等を受ける場合は、本補助金は受けられません。国及び茨城県以外の団体からの補助等がある場合には、その金額を差し引いた額が本補助額になります。</p>
4 事業内容	<p>①対象（だれに）</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの高齢者，高齢者世帯 高齢者が多い地域の自治会 <p>②手段（どのように）</p> <p>本人や自治会からの依頼を受けて以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問による安否確認 ゴミ出し等の簡単な家事支援 ゴミ集積所の掃除，道路沿いの草刈り <p>③目標（めざす姿）</p> <p>高齢者が安心して生活できるような地域をつくる。 5年後の高齢者世帯における利用率80%を目指す。 利用者の満足度（アンケート結果）80%以上を目指す。</p> <p>できるだけ事業計画書と重複のないよう記載してください。目標となる姿だけでなく，数値（根拠等があれば根拠も合わせて）も記載してください。</p>	

※支援を必要としている人に、どのような支援が届いているか分かるように記載して下さい。

5 事業実施区域	<p>■新規の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市全域（新規） <p>■拡充の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に実施済の地域 〇〇市〇〇地区, 〇〇地区 ・拡充で実施する地域 〇〇市〇〇地区 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="color: red;">拡充で応募する場合は、既存事業の区域と、拡充の区域の区別が分かるよう記載してください。</p> </div>	
6 実行体制について	<p>① 団体におけるスタッフの体制 当法人の常勤職員は1名のため、助成金の交付を受けられる場合は、非常勤スタッフ1名を雇用する。既存事業でのボランティアに加え、新規のボランティアを募集し、非常勤スタッフが日程調整や事業全体の管理をする。</p> <p>② 市町村との連携等 〇〇市高齢福祉課から〇〇事業の業務委託を受けている。社会福祉協議会や民生委員とは〇〇の事業を連携して実施している。</p> <p>③ 地域や他団体との連携・役割分担等 週2日しか訪問できないため、できるだけ家族や近所の方が訪問される日と重ならないよう調整する。 高齢世帯がゴミ当番の日は、自治会長さんから連絡して頂き、ボランティアと日程調整する。</p> <p>④ その他</p>	
7 期待される成果	<p>① 県民や地域への効果 地域の課題を県民で共有し、県民の関心を高めたり、ボランティア活動への参加を促したりする効果がある。</p> <p>② 現状や課題に対する効果 家族や近隣住民だけでは継続した支援が難しいため、多くの関係者で支援することで、取組を継続しやすい環境を整備する効果がある。</p>	
8 団体運営について	<p>① 課題解決の方法の先駆性、事業実施にあたっての団体の強みについて 市からの受託事業で配色サービスを実施している等、地域での認知度も高いことが強みで、地域とのネットワーク構築が円滑にできることが期待できる。</p> <p>② 資金確保に向けた取り組みについて 家事支援については受益者から1回300円程度の利用料を負担していただくほか、社協や日赤等の助成金の交付を申請するとともに、株式会社***から協賛金を貰える予定。</p> <p>③ 助成事業終了後の体制、資金確保 NPO法人の賛助会員の増加、本事業のサポーター制度の創設等により、当事業を支援して頂ける方を増やし、受益者負担金と合わせて運営していく。</p>	
9 共催団体等	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<p>【有の場合】</p> <p>団体名：株式会社***</p> <p>関係：環境美化活動等に社員研修や社内CSR活動扱いで社員の方達に参加して頂ける予定。</p> <p>役割分担：団体会員、協力団体</p>

※資産確保に向けた取組みや、助成事業終了後の資金確保については、事業収支予算書の整合性が取れるよう作成して下さい。

(様式第1-2号)

(記入例・2年目以降)

※終了した年度については、実績ベースに修正。今後実施する計画について、変更のあった箇所は更新して下さい。

事業計画書

事業名	高齢者の見守り・生活支援事業（2年目）				
実施年度	R1年度（実施1年目）	R2年度（実施2年目）	R3年度（実施3年目）	R4年度（実施4年目）	R5年度（実施5年目）
事業の内容	①見守り（A, B地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ②生活支援（A地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ・利用料	①見守り（A, B地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ②生活支援（A地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ・利用料	①見守り（A, B, C地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ②生活支援（A, B地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ・利用料	①見守り（A, B, C地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ②生活支援（A, B地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ・利用料	①見守り（A, B, C地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ②生活支援（A, B, C地区） ・スケジュール ・内容 ・対象者 ・利用料
事業効果について	1 1年目終了時に目指す姿 説明会の開催等により地域の方に活動を知ってもらう。 2 事業効果・成果の指標について 利用率20%以上、アンケートによる満足度60%以上	1 2年目終了時に目指す姿 利用者の近隣住民への挨拶等により、地域への定着を図る。 2 事業効果・成果の指標について 利用率40%以上、アンケートによる満足度70%以上	1 3年目終了時に目指す姿 サービスの向上により、利用者の満足度向上を図る。 2 事業効果・成果の指標について 利用率50%以上、アンケートによる満足度70%以上	1 4年目終了時に目指す姿 利用者の満足度の向上により、利用者から新規利用者の紹介を増やす。 2 事業効果・成果の指標について 利用率70%以上、アンケートによる満足度80%以上	1 5年目終了時に目指す姿 事業スキームの確立により、他地域への事業拡大を進めていく。 2 事業効果・成果の指標について 利用率80%以上、アンケートによる満足度80%以上
助成事業終了後の事業の展望・展開	利用率や満足率については5年目終了時の状況を維持したまま、継続して事業を実施していく。 将来的には、実施地域を〇〇市全域に拡大し、生活支援サービスについてもメニューを増やしていく。				

(様式第1-3号)

(記入例・2年目以降)

助成事業実施希望期間の全ての年度について作成して下さい。翌年度以降については見込み(変更可能)で構いません。ただし、終了した年度については不要です。

事業スケジュール表

事業名 高齢者の見守り・生活支援事業

(実施 **2** 年目)

		安否確認事業	家事支援事業	事業
令和2年	第1期(4月～6月)	<ul style="list-style-type: none">・A地区で実施・実施件数 100件/月・スタッフ情報交換会 毎月第2日曜日に開催	<ul style="list-style-type: none">・A地区で実施・実施件数 20件/月・スタッフ募集・事業説明会の開催	
	第2期(7月～9月)	<ul style="list-style-type: none">・A地区で実施・実施件数 100件/月・スタッフ情報交換会 毎月第2日曜日に開催・B地区での事業説明会・B地区でのボランティア募集・利用者アンケート実施	<ul style="list-style-type: none">・A地区で実施・実施件数 30件/月・スタッフ募集・事業説明会の開催・利用者アンケートの実施	
	第3期(10月～12月)	<ul style="list-style-type: none">・A地区・B地区で実施・実施件数 A地区100件/月 B地区 50件/月・スタッフ情報交換会 毎月第2日曜日に開催・利用者アンケートの評価	<ul style="list-style-type: none">・A地区で実施・実施件数 40件/月・スタッフ研修会の開催・事業説明会の開催・利用者アンケートの評価	
令和3年	第4期(1月～3月)	<ul style="list-style-type: none">・A地区・B地区で実施・実施件数 A地区100件/月 B地区 50件/月・スタッフ情報交換会 毎月第2日曜日に開催・次年度の計画作成	<ul style="list-style-type: none">・A地区で実施・実施件数 40件/月・C地区での事業開始の検討開始・次年度の計画作成	

事業計画書の内容をより詳しく、年度ごと、事業ごとに作成して下さい。

(様式第1-4号)

(記入例・2年目以降)

助成事業実施希望期間の全ての年度について作成して下さい。翌年度以降については見込み(変更可能)で構いません。ただし、終了した年度については不要です。

事業収支予算書 (令和2年度)

事業名: 高齢者の見守り・生活支援事業

費目		予算額	内 記	
支 出 区 分	1 安否確認事業	144,400 円		
	事 業 費	①報償費	円	
		②旅費	円	
		③消耗品費	20,000 円	文房具代, 封筒代
		④印刷製本費	30,000 円	チラシ印刷費 @10 円×3,000枚
		⑤食糧費	円	
		⑥通信運搬費	16,400 円	切手代 @82 円×200 枚
		⑦保険料	60,000 円	保険料@300 円×200 人
		⑧委託費	円	
		⑨使用料及び賃料	18,000 円	会議室使用料@3,000 円×6 回
		⑩備品費	円	
		⑪施設改修費	円	
		⑫その他諸経費	円	
	2 生活支援事業	466,400 円		
事 業 費	①報償費	円		
	②旅費	円		
	③消耗品費	100,000 円	文房具代, 封筒代, ゴミ袋, 軍手, 草刈り鎌	
	④印刷製本費	40,000 円	チラシ印刷費 @20 円×2,000枚	
	⑤食糧費	円		
	⑥通信運搬費	16,400 円	切手代 @82 円×200 枚	
	⑦保険料	60,000 円	保険料@300 円×200 人	
	⑧委託費	円		
	⑨使用料及び賃料	50,000 円	公民館使用料@1,000 円×50 回	
	⑩備品費	200,000 円	草刈り機@100,000 円×2 台	
	⑪施設改修費	円		
	⑫その他諸経費	円		
⑬人件費	152,700 円	非常勤スタッフ給与 (助成対象経費の20%)		
⑭仕入控除税額	0 円	消費税・地方消費税の申告義務なし		
助成対象経費 (①から⑬の合計-⑭)	763,500 円			
助成対象外経費	1,847,300 円	非常勤スタッフ給与(助成対象経費以外)		
事業総額		2,610,800 円		

収入区分	内容	予算額	積算根拠（内訳）
	①事業収入（参加費、資料代等）	400,000 円	@500 円×400 人，@1,000 円×200 人
	②寄附金	1,402,000 円	会費，賛助会費，企業協賛金
	③県助成金収入	254,000 円	茨城県提案型共助社会づくり支援事業
	④市町村助成金収入	254,000 円	〇〇市提案型共助社会づくり支援事業
	⑤民間等助成金収入	300,000 円	〇〇市運営費助成金
	⑥その他	800 円	雑収入
収入総額		2,610,800 円	

（別表）対象経費の考え方

項目	対象経費の例	対象外経費の例
人件費	専任の非常勤職員の給与，アルバイトに支払う日当，有償ボランティアの報酬等（助成額の20%を上限）	団体構成員や常勤職員への給与・日当等
報償費	専門的な業務に関するコンサルティング料，アドバイザーへの謝礼等	団体の構成員・ボランティアに対する謝礼・返戻用の菓子折り・金券等
旅費	事業に必要な遠隔地への出張に係る交通費，移送支援等の事業に係る燃料代等	団体構成員の通勤費，タクシー代等
消耗品費	事務用品の購入費，材料費等	土産・賞品・記念品代等
印刷製本費	チラシ，ポスター，募集案内，事業報告書等の印刷費	団体機関紙・会報・定期刊行物の発行費用等
食糧費	子ども食堂・配食サービス等の事業に必要な食材費（参加者は無料又は食材費の一部のみ負担する場合），熱中症対策の飲料等	会議の弁当・飲料等
通信運搬費	募集案内等の送付に係る配送料等，助成事業専用の携帯電話料（事業に不可欠な場合に限る）	既存の事務所の固定電話料，構成員の携帯電話料
保険料	参加者等への行事保険料	
委託費	専門的な知識や技術を要する業務を外部に委託する費用	事業全体の再委託
使用料及び賃借料	物品や会場などの賃借料・使用料，バスの借り上げ料等	賃貸借契約の確認の取れない個人宅に係る賃借料，団体事務所の賃借料
備品費	食材用の冷蔵庫，移送サービスに必要な車両（原則として単価が10万円以内とする。ただし，10万円以上であっても，特殊な車両や機材等で事業に不可欠な備品は対象とすることができる。）	乗用車，パソコン等（単価が10万円以内であっても，主たる用途が助成事業と判断することが難しい場合）
施設等の改修費等	新規に開設する施設の改修費・建物付属設備	既存の事務所の改修費

購入予定備品一覧

見積書 番号	備品・設備名	メーカー・規格・仕様・型式	数量	単価(円)	価格(円)
1	草刈機	(株)〇〇製作所 MB301	2	100,000	200,000

※単価が 1 万円以上のものについては、カタログのコピー等（インターネットの EC サイト等のプリントでも可）を添付してください。

※カタログ等に価格（メーカー希望小売価格等でも可）が記載されていない場合は、見積書を添付してください。（納品時の価格と同額である必要はありません。）

【保管場所（予定）】

助成事業者の事務所等に保管しない備品については、保管方法を記載してください。

（任意団体等で事務所等を持たない場合は、全ての備品について記載してください。）

保管場所・設置場所名称	(特活)いばらき助け合い 事務所	
所在地(地番)		
土地または建物の所有者		
備品名	草刈機	
保管・設置場所の説明		
管理方法		

※事務所に置く場合は、保管場所と備品名のみで結構です。
個人の自宅や借地等に置く場合は管理方法を記入してください。

※保管場所ごとに作成してください。

保管場所・設置場所名称	茨城 太郎(理事長)自宅敷地内の物置
所在地(地番)	水戸市××町4-5-6
土地または建物の所有者	茨城 太郎
備品名	草刈機
保管・設置場所の説明	茨城太郎の所有物と(特活)いばらき助け合いの備品の両方を保管していますが、明確に区別が出来るようパーティションや表示をしてあります。
管理方法	使用簿を記帳し、誰がいつ持ち出したか管理します。 「NPO法人いばらき助け合い」のステッカーを目立つ場所貼り、個人の所有物と区別します。

(記入例)

(様式第1-6号)

団体概要書

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん いばらきたすけあい 特定非営利活動法人 いばらき助け合い	
所在地 (主たる事務所)	〒310-8555 水戸市〇〇町1-2-3	
代表者氏名	(ふりがな) いばらき たろう 理事長 茨城 太郎	
連絡先	連絡者氏名 茨城 次郎 (事務局職員) 住所 水戸市〇〇町1-2-3 電話 029(301)2175 FAX 029(301)2190 e-mail ibaraki-tasukeai@aaaa.bb.jp	
設立(活動)開始年月 (法人設立年月)	法人の場合 法人設立 平成25年 3月20日 その他の場合 年 月活動開始 活動歴 年 か月 (年 月末日現在)	
会員数 (構成員数)	個人: 40人 団体: 5団体	入会条件 ■NPO法人, 任意団体等の場合(例) ・特になし ・〇〇に在住の〇〇の方 ※株式会社等, 会員制でない団体の場合は不要です。
主な活動地域	茨城県 水戸市全域 その他 ()	
広報関係の有無	(会報、広報誌等の発行) <input checked="" type="checkbox"/> (年 2 回発行) / 無 ----- (ホームページ) <input checked="" type="checkbox"/> (URL http://www.ibaraki-tasukeai.jp) / 無	

<p>団体の目的 (定款等の目的)</p>	<p>■NPOの場合</p> <p>この法人(団体)は、〇〇に対する〇〇に関する事業を行うことを主たる目的とした法人(団体)で、〇〇に寄与することを目的としています。</p> <p>■企業の場合</p> <p>当社は次の事業を行うことを目的とする。</p> <p>(1)〇〇事業</p> <p>(2)〇〇事業</p> <p>※今回、助成金に応募する事業については、ソーシャルビジネスとして事業化を目指すものです。(または、CSRとして実施するものです。)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※企業の場合は、定款に記載されている目的だけでなく、応募する事業の位置づけを補足して下さい。</p> </div>
<p>主な活動</p>	<p>地域住民を対象とした活動</p> <p>〇〇市〇〇地区で高齢者サロンを実施(社協助成金の交付あり)している他、〇〇市全域で一人暮らし高齢者を対象とした配色サービスを実施(市からの受託事業)している。</p> <p>〇〇市で開催されている***子ども食堂に当社の商品を寄附している他、社員有志でスタッフとして活動をしている。</p> <p>上記以外の活動</p> <p>当社はスーパーマーケットチェーンなので、きずなボックスを設置し、お客様から寄附して頂いた食品をフードバンクに届けている。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※企業の場合は、法人の主たる事業を簡潔に記載した上で、地域課題や応募内容と関係のある取組等があれば、併せて記載してください。</p> </div>
<p>市町村との連携・協働事業の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名 〇〇市高齢福祉課 ・連携・協働事業名 平成28年～ 高齢者への配食サービス(業務委託) ・事業内容の詳細 〇〇市〇〇地区において、一人暮らし高齢者を対象に、毎週〇曜日と〇曜日の週2回、昼食時にお弁当を配送している。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・部署名 〇〇市消防防災課 ・連携・協働事業名 平成29年度防災まち歩きマップの作成業務(業務委託) ・事業内容の詳細 何人かの住民と一緒にまちを歩いて周り、地図上に防災の観点で気づいたことなどを落とし込んで発表し合いをする。